

放射光による原子のコヒーレント制御

金安 達夫

九州シンクロトロン光研究センター

光を用いて物質の性質や機能を量子論に基づいて自在に制御することは、光科学・物質科学研究の究極的な目標の一つである。1990年代以降のレーザー技術の急速な発展は、高度に波形制御された光による物質の量子状態制御を実現した。今日ではレーザー光による量子状態の制御や計測は、光科学から量子情報科学まで幅広い分野で活用される基盤的な実験手法といえる。

我々は最近、タンデムアンジュレータ（図1a）を使えば、放射光源でもアト秒レベルで波形が制御されたダブルパルスが容易に得られることに着目し、それを使った量子状態制御（コヒーレント制御）を考案した。そして分子研 UVSORにおいて気相原子を対象とした実証実験を行い、極端紫外域のダブルパルスによるヘリウム原子の状態占有率[1]や電子軌道形状[2]の量子制御を実現した[3]。さらに軟X線波長域へと本手法を拡張し、キセノン原子の内殻空孔状態のフェムト秒電子緩和の時間観測[4]に成功した。いずれの実験においても操作パラメータはダブルパルスの時間間隔である。これをアト秒レベルで調整することでダブルパルスによって生成された原子内部の量子波束を干渉操作し、原子系の量子状態の制御や崩壊過程の時間計測を実現した。本手法の短波長化には原理的な制約は見当たらず、将来的には放射光の新たな利用法を切り拓く可能性が高いと期待している。

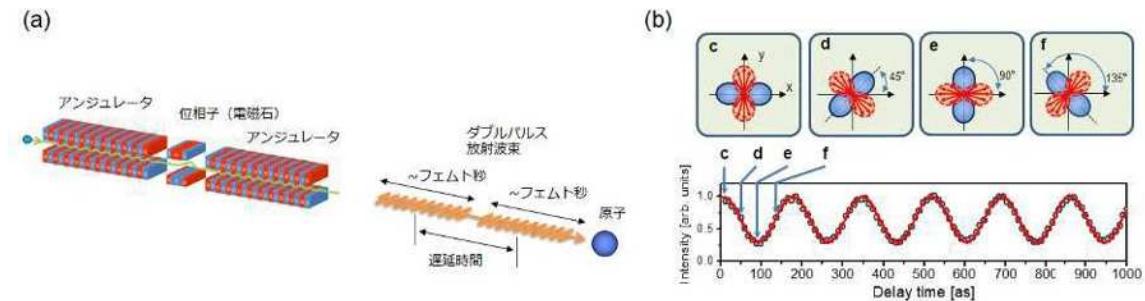


図1：(a) タンデムアンジュレータによるダブルパルス放射波束の発生、(b) ヘリウム原子の電子軌道形状のアト秒量子制御。

[1] Y. Hikosaka et al., Nat. Commun. **10**, 4988 (2019).

[2] T. Kaneyasu et al., Phys. Rev. Lett. **123**, 233401 (2019).

[3] 金安達夫, 彦坂泰正, 加藤政博, 日本放射光学会誌 **33**, 327-333 (2020)

[4] T. Kaneyasu et al., Phys. Rev. Lett. **126**, 113202 (2021).



Contents

- ✓ Background: coherent control
- ✓ Experimental: coherent control by synchrotron radiation
- ✓ Photoexcitation of He in XUV
 - wave packet interference
 - controlling the population and orbital alignment

XUV

Y. Hikosaka et al., Nat. commun. **10** (2019) 4988
T. Kaneyasu et al., PRL **123** (2019) 233401, NJP **22** (2020) 083062.
- ✓ Wavepacket interference in atomic inner-shell excitation
 - excitation of 4d electron in Xe
 - tracking femtosecond Auger decay

Soft x-ray

T. Kaneyasu et al., PRL **126**, 113202 (2021)

Collaborators

富山大学

彦坂泰正

広島大学HiSOR, 分子研UVSOR

加藤政博

分子研UVSOR

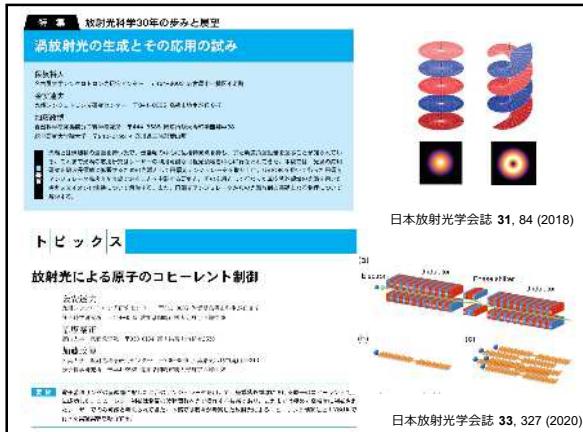
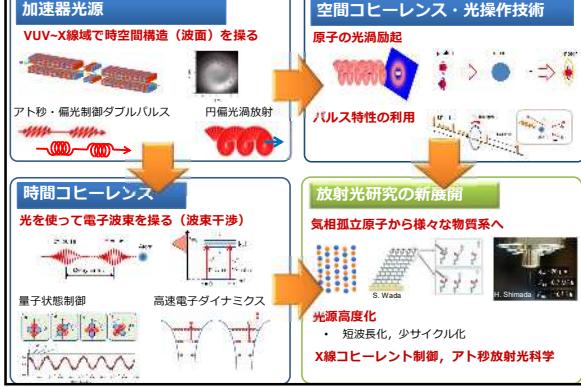
藤本将輝, 岩山洋士



広島大学



放射光の時空間構造の利用

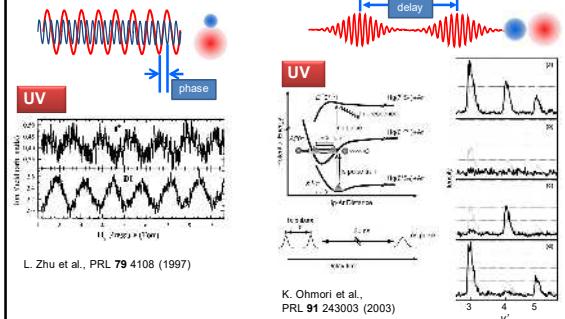


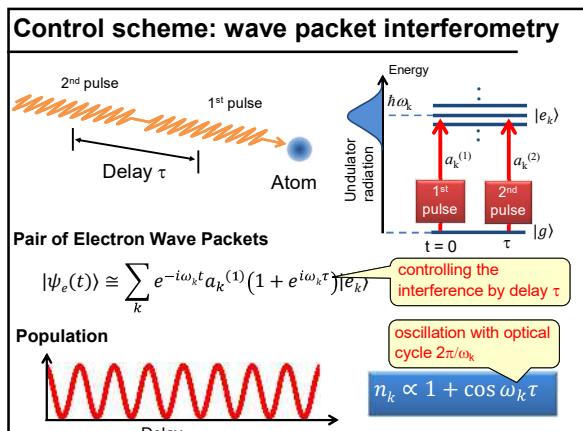
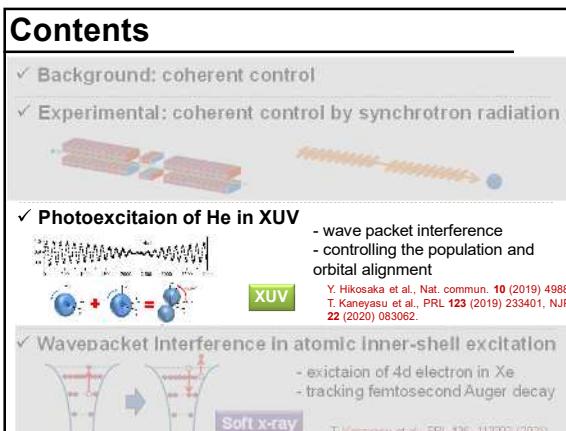
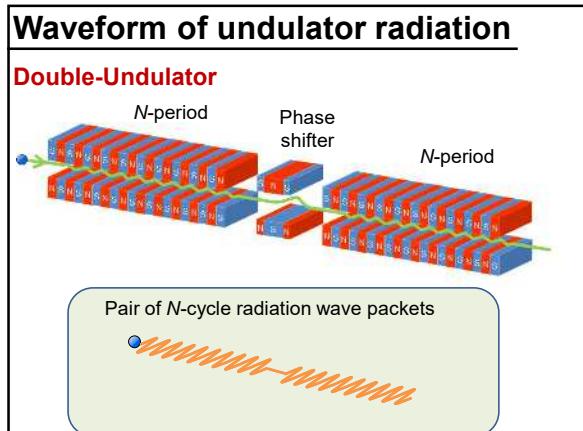
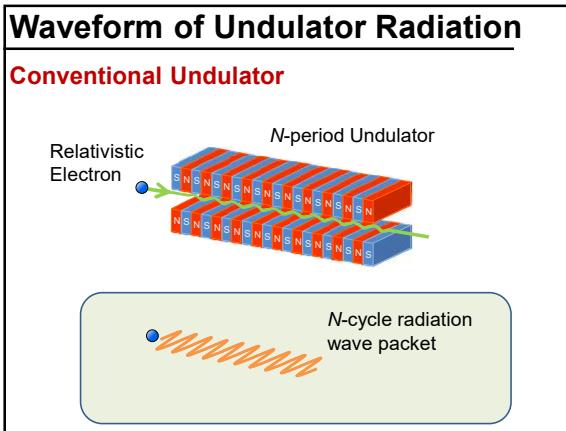
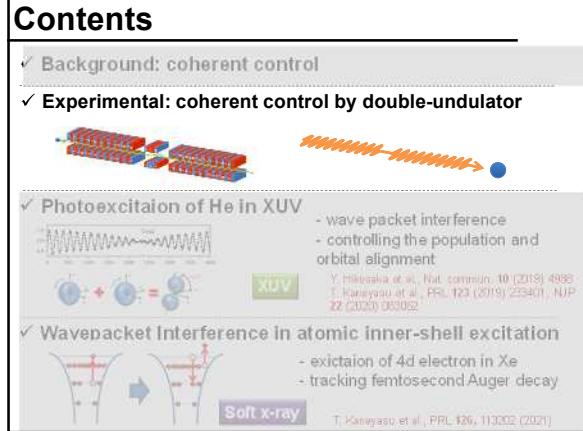
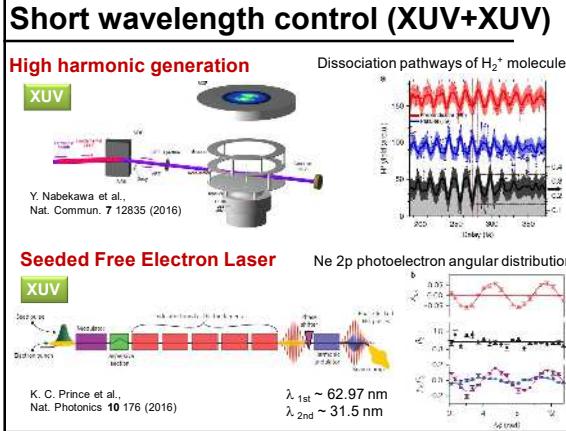
Background: coherent control

Controlling the population and reaction in matter by light

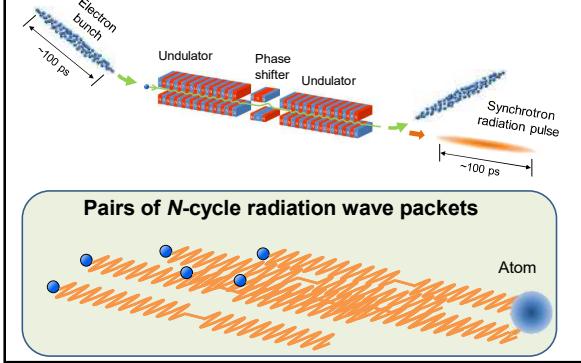
Brumer-Shapiro ($3\omega/\omega_0$) scheme

Wave Packet Interferometry

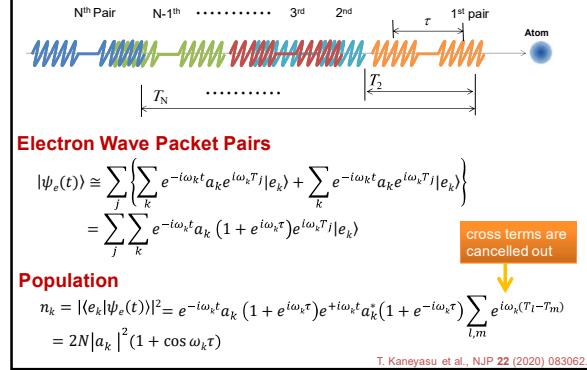




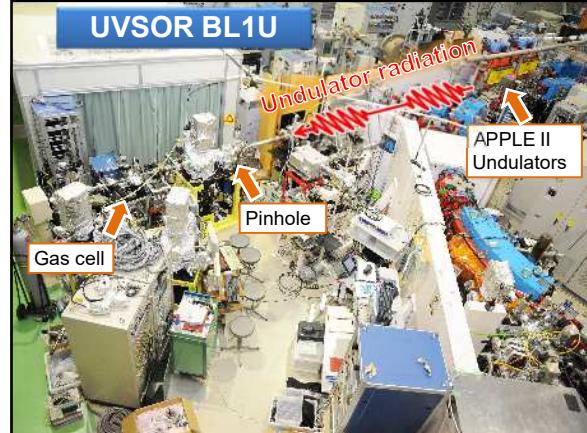
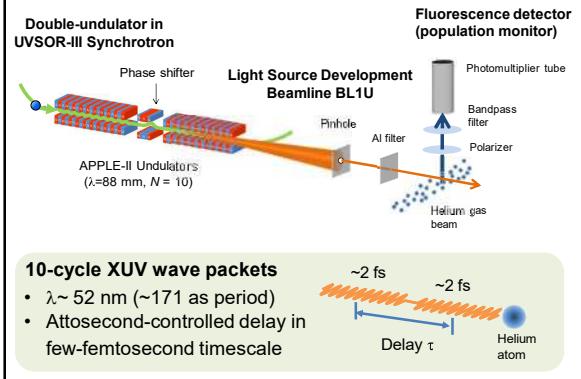
Double-undulator in synchrotron



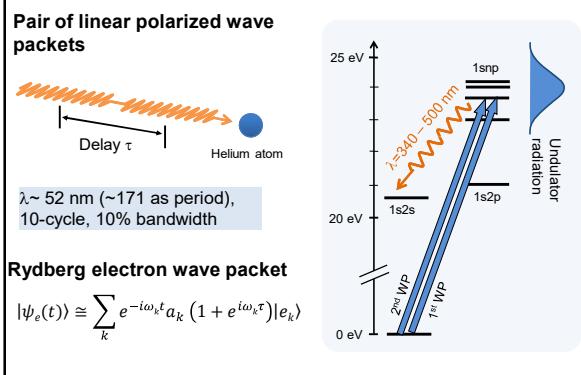
Wave Packet Interferometry by Randomly Distributed Coherent Pulse-pairs



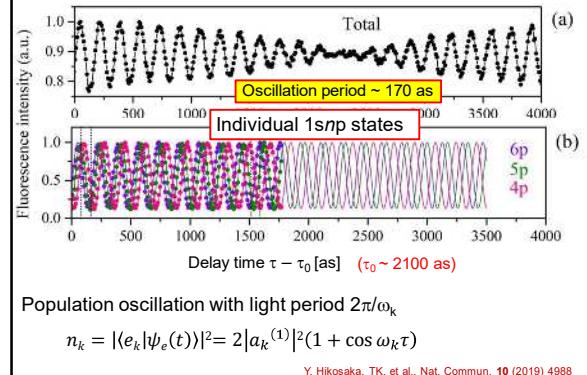
Experimental setup

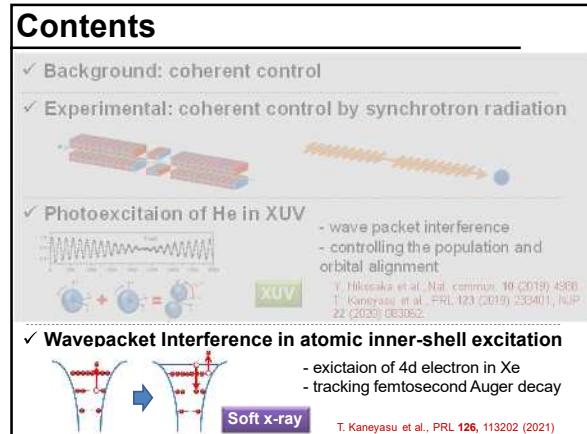
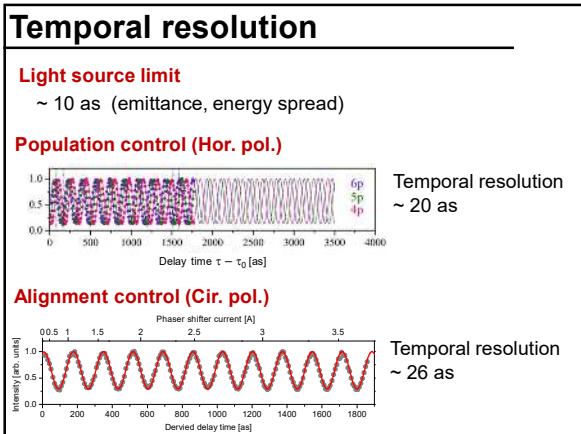
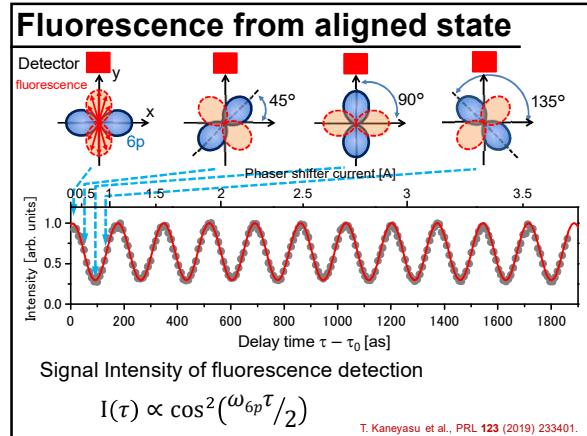
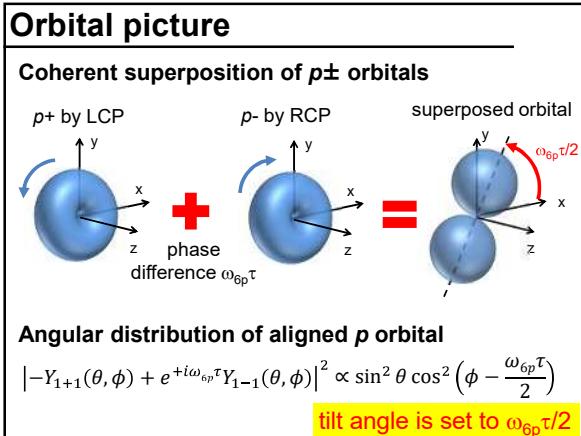
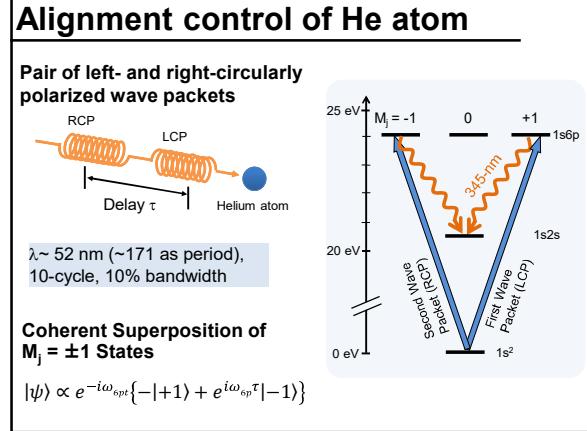
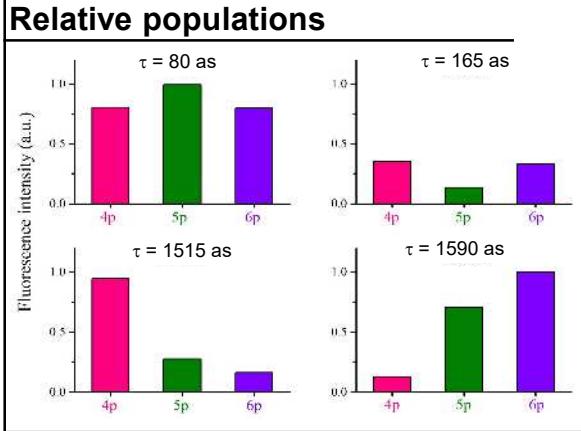


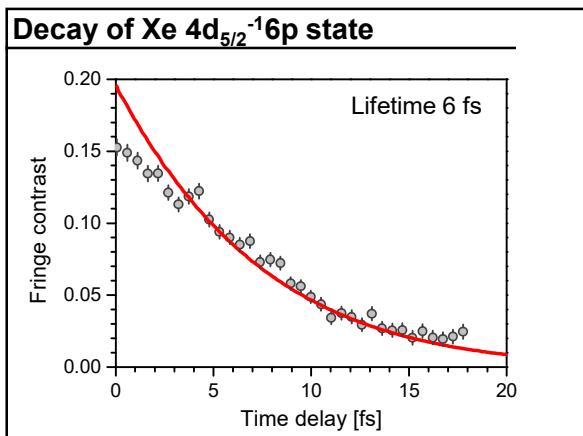
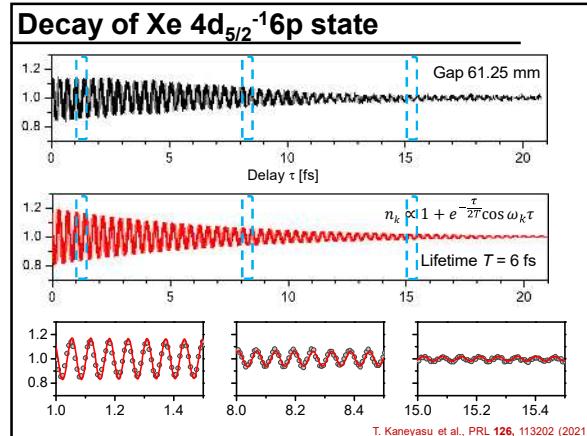
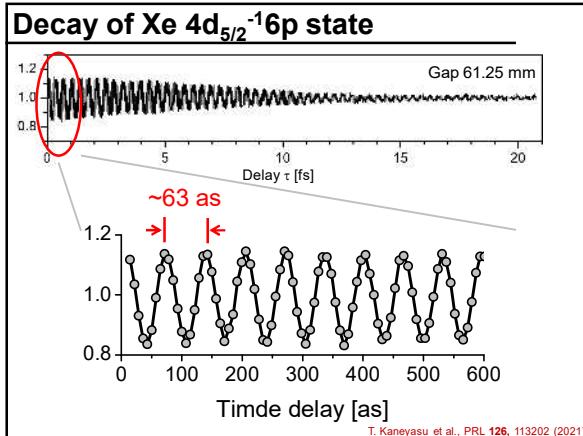
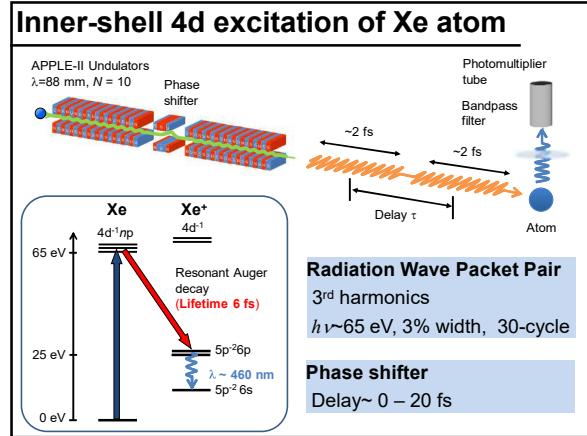
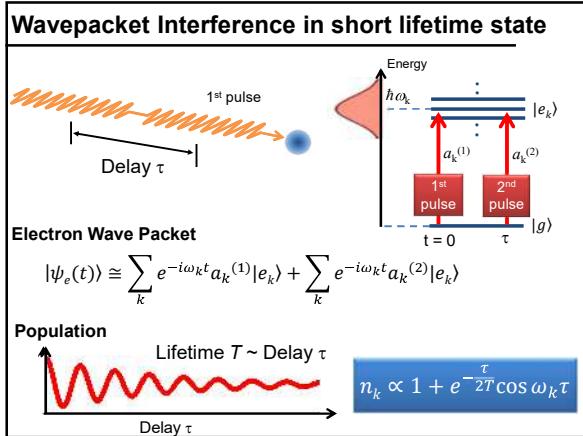
Population control of He atom



Fluorescence from 1snp states







Summary

- 放射光によるアト秒コヒーレント制御
 - タンデムアンジュレータからのダブルパルス
 - アト秒レベルの遅延制御、波長や電場サイクル数・偏光設定に原理的制約なし
- 実証実験
 - ヘリウム原子の量子制御 (population, alignment)
 - 内殻電子の干渉制御とフェムト秒オージェ過程の時間観測

Acknowledgements

JSPS: 17H01075, 18K03486, 18K11945
Research Foundations for Opto-Science Technology
Frontier Photonic Sciences Project of National Institutes of
Natural Sciences (NINS): 01211906

